

●●銀章●●

善行銀章を

受賞して

沖繩県うるま市

金城守



この度、令和六年度明治神宮参集殿で執り行われた春季・特別善行表彰において、善行銀章の栄誉を賜り心から感謝申し上げます。

厳かな雰囲気の中、粛々と式典を終へ、祝賀会も

●●銀章●●

明るい社会を

念じつつ

福井県坂井市

西畑 光廣



令和六年度特別善行銀章を賜り心より感謝申し上げます。

二十代に公益財団法人モラロジー道徳教育財団の青年部で社会貢献活動に参加しながら、昭和五十九年に休団していたボーイスカウトの復活に関わり、多くの方々のお

支部だより

愛知県豊橋支部

第十四回定期総会の開催



令和六年六月十五日に、支部定期総会と春季善行表彰者の伝達式も合わせて行い、豊橋市立富士見小学校と豊橋市立南稜中学校が受賞報告をいたしました。

山本明彦支部長より「どんな時代が来ても善行活動は、安心安全な社会の基本。これからも隠れた善行にスポットを当て、広く知っていただく活動を続けていくとともに、波及することを願っております。」と挨拶をいたしました。来賓の浅井由崇市長は、「まちづくりの土台は人づくり、人づくりなくして未来はない。こうした活動が今後も広がれば、素晴らしい。」と当会の活動に感謝を述べられました。

当支部でも亡くなられた方や体の自由がきかなくなつて参加できない会員の方がみえますが、善行活動を続けられていた気持ちは消えることなく、その気持ちを引き継ぐかのように新たな会員の方々も入会し、活動を続けておられます。総会後の懇親会では、それぞれの近況のお話を聞くうちに受賞された後もずっと活動をされておられ、素晴らしい方々の集まりだと改めて当会の意義を感じる一日となりました。

群馬県北毛支部

令和六年度定期総会並びに特別善行金章・銀章の伝達式の開催について



令和六年度定期総会並びに特別善行表彰金章・銀章受賞者に対する伝達式を会員五七名の出席のもとに、去る六月二日(日) 渋川市石原在所の「ホワイトパーク」において開催しました。定期総会に先立ち去る五月一八日、明治神宮参集殿において特別善行表彰金章・銀章を受賞した八名に対して、令和六年度の事業計画(案)並びに収支予算(案)の審議に入り、年間を通じての様々な活動について、全員一致で決議・承認されました。

また、総会は島村支部長の挨拶に続き、本部勝野堅介会長の祝電披露があり、令和五年度の事業報告・収支決算報告、監査報告が行われ、原案通り決議・承認されました。続いて、令和六年度の事業計画(案)並びに収支予算(案)の審議に入り、年間を通じての様々な活動について、全員一致で決議・承認されました。



翌日の三日には、恵まれた晴天のもと、愛好者による親睦ゴルフを行いました。佳さんが防犯ソング「笑顔の輝る街に」を始め、オリジナル曲「世界は一つの花になる」などの素晴らしい歌声を披露し、盛会裡で終了しました。

ふる里自慢

北海道釧路支部

釧路の「炬ばた」で味わって!

釧路支部 事務局長 小野信一

釧路市には独特な食文化があります。明治創業の老舗蕎麦店「竹老園(東家総本店)」を中核とするお蕎麦、釧路のソウルフードと称



される「泉屋」のスパゲティ(特にスパカツ)、揚げる前に鶏肉を醤油ベースの甘辛いタレに漬けておくから、一般的な鶏の唐揚げと比べ味付けが濃いザンギ、その発祥のお店は「鳥松」、釧路ラーメンにつぶ焼、などなど。

そして今般は「炬ばた」のふる里自慢を、釧路炬ばた学会でのご紹介を引用させていただきお伝えします。

開創で新鮮な魚介類や野菜を炭火で焼いて食べる、古くから全国各地で行われてきた炬ば

た焼き。焼きあがったものを、店主が「掘返べら」と呼ばれる長いしゃもじで離れたお客様に渡すという独特なスタイルも生まれました。釧路市では一九五八年頃、「炬

ばた」が開設されました。東北の仙台市で野菜を炭火焼しながら提供する「炬ばた」です。地元では「炬ばたの炬ばた」とも呼ばれ、その文化を伝播させてきました。釧路市は地酒にも恵ま

れ、大正八年創業「福司」があります。炬を囲み、お酒を酌み交わし、ときには交流を楽しんだり、地元食材に舌鼓をうつす。そんな時間が釧路には根付いてきました。現在も地酒「福司」を、炬であったため提供しているお店が複数箇所あります。



市民からも釧路の食文化のひとつとして愛され、「炬ばた発祥の地」として育てられてきた。それが、釧路市の「炬ばた」です。是非お越しください!